



北上の子

北上小の合い言葉(三つの心) おもう心 むかう心 のびる心

令和5年度の始まり

校長 皆川 尚之

コロナ対応は感染症法上の位置づけ変更に伴い、マスク着用についても「行政が一律に屋内基本着用を求める」から「個人の主体的な選択を尊重する」に変更となりました。そして、4月から学校でも「児童及び教職員については、学校の教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことが基本」となりました。今後は、効果的な換気や手洗いの励行を継続しながら、安心安全の生活を送ることができるよう声かけや見守りをしていきたいと思えます。

外は春真っ盛り、名残の桜が舞い、美しい風景が見られます。この環境の中で共に歩めることを幸せに思えます。保護者の皆様、本年度も本校の教育活動に御理解と御協力よろしくお願いいたします。

本年度の重点目標

始業式では「毎日がプレゼント」という本の内容を紹介させていただきました。

あなたのために新しい今日がやってくる。
一生は1日の集まりです。1日として同じ日はありません。
あなたも昨日のあなたではありません。
今日を「今日」と書きます。
英語で今のことを「Present」といいます。
私たちは毎日新しい今日をプレゼントされているのかもしれない。

プレゼントされた新しい今日をステキな今日にするためにどうしたらいいでしょうか？
「挑戦する」気持ちをもったらどうでしょうか？
北上小の3つの心「むかう心」=いどむ心です。
今年は失敗を恐れずいろいろなことに挑んでみてください。
皆さんの挑んでいる姿を楽しみにしています。
もちろん「おもう心」=温かい心 「のびる心」=成長しようという心も大切にしていきたいと思います。

本年度も引き続き「心ある子」の育成を目指します。

「おもう心」=温かい心(人の力になりたい)

「むかう心」=いどむ心(学びたい 挑戦したい)

「のびる心」=成長しようとする心(自らを高めたい)

本校の課題を踏まえ、特に「むかう心」を高められるような教育活動を実践していきます。

始業式と入学式

入学式では、1年生56名が新たに「北上っ子」の仲間入りをしました。緊張した中で笑顔も見られました。北上小学校の仲間は、354名でのスタートとなりました。

始業式では、各学年の5名が新年度の決意を発表しました。友だちを増やす、行事に率先して参加する、苦手教科の克服を目指すなどが堂々と語られました。「新たな仲間との出会い」「担任との出会い」を大切にして、進級したそれぞれの学年で「新たな自分と出会える」ようにしてほしいと思えます。